

## Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 58031229  
 PUBLICATION DATE : 23-02-83

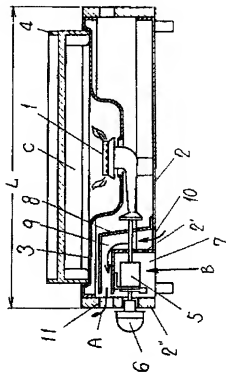
APPLICATION DATE : 17-08-81  
 APPLICATION NUMBER : 56128520

APPLICANT : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD;

INVENTOR : KAMO TETSUO;

INT.CL. : F24C 3/12 F24C 15/34

TITLE : TABLE-TOP GAS HEATER



ABSTRACT : PURPOSE: To heat-insulate and protect a gas cock, and to miniaturize a heater proper by disposing a gas cock encasing chamber surrounded by a heat shielding wall and a cooling air passage to the lower section of a base plate section such as a cooking plate.

CONSTITUTION: The chamber 7, which is surrounded by the heat shielding wall 8, to the inside the cooling air passages 10, 11 are formed and which encases the gas cock 5, is disposed to the lower section of the base plate section 3. According to this constitution, the hot air of a heat accumulating chamber C, the gas burner 1, etc. is interrupted by the heat shielding wall 8 and cooling air flowing in the cooling air passages 10, 11 while cooling air B directly cools the gas cock 5. Accordingly, the gas cock is positively heat-insulated and protected while the heater proper can be miniaturized only by the gas cock 5 section because the gas cock is not projected above the mounting plate 3.

COPYRIGHT: (C)1983,JPO&Japio

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭58—31229

⑪ Int. Cl.<sup>3</sup>

F 24 C 3/12

15/34

識別記号

庁内整理番号

7116—3L

7116—3L

⑬ 公開 昭和58年(1983)2月23日

発明の数 1

審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑭ 車上用ガスコンロ

⑮ 発明者 加茂哲雄

門真市大字門真1006番地松下電

器産業株式会社内

⑯ 特 願 昭56—128520

⑰ 出 願 昭56(1981)8月17日

⑱ 出 願 人 松下電器産業株式会社

⑲ 発 明 者 室岡悦次

門真市大字門真1006番地

門真市大字門真1006番地松下電

⑳ 代 理 人 弁理士 中尾敏男 外 1 名

器産業株式会社内

明 細 書

1. 発明の名称

車上用ガスコンロ

2. 特許請求の範囲

ガスバーナを中心とする調理用プレートなどの  
載置部下方に、ガスコックを配設した密を形成し、  
前記密内には冷却空気を送給するようにしてなる  
とともに、前記密を形成する器体壁との間に、空  
気流通路をおいて通気性を、前記密を囲むよう  
に設けたる車上用ガスコンロ。

3. 発明の詳細な説明

本発明は食卓上などで使用される車上用のガス  
コンロに関する。

周知のようにガスコンロのガスコックは、熱的  
悪影響を受けないように配設されなければならない。  
第4図はその例を示し、ガスコック12はガ  
スバーナ10を中心とする調理用プレート14な  
どの載置部範囲A外の器体15内に設けられ、ガ  
スコック12とガスバーナ10間には、ガスコ  
ック12を覆うように遮熱板16が配設されている

とともに、器体15の底部と前部には、遮熱板16  
によって囲まれたコック室17内に冷却空気8が  
流動するよう孔18、19が設けられている。

この構成によれば器体15上への調理用プレ  
ート14の載置時に形成される密熱室B外にガスコ  
ック12があること、および遮熱板16による遮  
熱、さらに冷却空気8の流動などによって、ガ  
スコック12はほとんど熱的悪影響を受けないも  
のである。

しかし前記構成によれば、載置部範囲A外にガ  
スコック12を配しているで、その分だけ器  
体15の全体寸法が大きくなる。車上用のガス  
コンロは食卓上で使用されるものであり、食卓  
スペースを広く確保する意味から、小型化されるこ  
とが望ましいが、前記構成では器体15が大きく  
なり、それによる食卓スペースの侵害はまぬが  
れない。

本発明はガスコックを熱から保護するとともに  
器体の小型化をも満足させた車上用のガスコン  
ロを提供しようとするものであり、ガスバーナを中

心とする調理部の下方にガスコックを配成した室を形成し、この室内に冷却空気を通すようにするとともに、前記の室を形成する器体壁との間に空気流通通路を設けて送熱管を、前記室を迂回するように配したものである。

以下本発明の実施例を図1図〜図3図を用いて説明する。

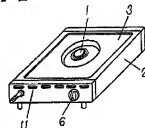
図1において1は器体2の断中央に設けられたガスバーナであり、このガスバーナ1を中心として、その周囲に燃費部3が形成され、燃費部3上に調理用プレート4あるいは鍋(図示せず)などを設置できるようにしている。5はツマミおよびガスバーナ1に接続されたガスコックで、前記燃費部3の下方に形成された室7内に配設されている。8は器体2内に設けた送熱管で、前記室7を迂回するように、かつ室7を形成する器体壁2'との間に通路8aを設けて配設されている。10、11は前記通路8a内を冷却空気が流るよう、器体2の底壁と前壁とに設けた換気孔である。

前記燃費部3および、ガスコック5を調理用プレ

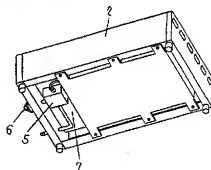
ート4などの燃費部3の下方に設けているので、器体2の寸法は前記した従来例よりかなり小さくなる。また燃費部3の下方にガスコック5を配設したことによって、燃費部3への調理プレート4のセット時において生ずる蓄熱室9直下にガスコック5が位置することになるが、ガスコック5への熱的影響はない。すなわち蓄熱室9、ガスバーナ1などからの熱気は、室7を迂回器体壁2'、および送熱管8によって送熱されているとともに、送熱管8と器体壁2'間には矢印8aの如く冷却空気が流動し、かつ室7の下方からは矢印8bの如く冷却空気がガスコック5へ常に供給されているので、ガスコック5は過熱加熱を防止されるものである。

なお室7の前面に器体壁2'を設けているが、これは器体2の前方からガスコック5へ物があたって、ガスコック5が損傷されるのを防止するためである。また室7の下方は全面開放されているが、全面開放せず、たとえば多数の換気孔を穿設した吸気パネル(図示せず)によって覆ってもよい。

第 1 図



第 2 図



#### 4. 図面の簡単な説明

第1図〜第3図は本発明の実施例を示し、第1図はコンロの斜視図、第2図はコンロ裏面を示す斜視図、第3図は第1図におけるA-A'断面図である。

第4図は従来例を示すガスコンロの断面図である。

1……ガスバーナ、2……器体壁、3……燃費部、4……調理用プレート、5……ガスコック、7……室、8……送熱管、8a……空気流通通路。  
代理人の氏名 弁理士 中 尾 敏 男 はか1名

